

# みみはら 十人色

シリーズ  
みみはらの人 ⑨

## 地域から求められ、 支えられる病院として 維持発展へ



耳原総合病院  
新病院長 河原林 正敏医師

健康友の会みみはらのみなさん、同仁会職員のみなさん、10月から新たに病院長に就任することとなりました河原林正敏です。

私は、1994年に研修医として耳原総合病院に入職しました。入職の動機は、患者さんに寄り添う民医連医療に共感したこと、当時まだ主流とはなっていなかったローテート研修で医療を幅広く学ぶことができ、研修内容もお仕着せではなく、自分の希望もふまえてつくっていただけることに魅力を感じたことからでした。

入職して2年目の時に、当時耳原にはなく、地域から開設を望む声の高かった「整形外科をぜひ立ち上げてほしい」と病院長上層部から声をかけられました。このことがきっかけとなり、「自分がやりたい医療よりも、地域から求められる医療を担いたい」と思うようになりました。整形外科医療を学ぶため、北海道民医連に出向研修することとなり、札幌、釧路、苫小牧の民医連病院で受け入れていただきました。北海道では、全国各地から研修に来ていた医師と交流でき、民医連組織の裾野の広さを感じました。

若手職員とともに、反核平和自転車リレーなどの平和活動にも参加しました。大阪民医連での初期研修、そして北海道での専門研修を通じ、「私は民医連に医師として育ててもらった」と強く感じております。

1999年に北海道から堺に戻り、外科系の先生たちの手をお借りしながら、整形外科の外来や手術を開始しました。はじめの数年間は無我夢中でしたが、整形外科の医師も徐々に増えて安定した診療が行えるようになり、近年では私の仕事の軸足は、医療安全をはじめ、病院全体



院長交代であり、責任の重さにとても身が引き締まる思いです。

「無差別平等の医療」をはじめとした病院理念に基づく医療の実践のためには、めまぐるしく変化する医療情勢に振り回されることなく、病院が誰のために存在し、自分たちがなんのために医療を行っているのか、常に問い直しながら、日々の診療を続けていくことが大切です。また、病院が求められる役割は、時代とともに変化していきますが、それに対応するために職員一人ひとりの力量を上げつつ、チームとして医療の質向上に取り組み、地域から求められ、支えられる病院として維持発展させていきたいと考えております。

このたび、奥村病院長の後任として病院の管理運営を担うこととなりました。新型コロナウイルス感染症で、日本中の医療機関や介護施設が対応に奔走しているこのような時期での病院長交代であり、責任の重さにとても身が引き締まる思いです。

「無差別平等の医療」をはじめとした病院理念に基づく医療の実践のためには、めまぐるしく変化する医療情勢に振り回されることなく、病院が誰のために存在し、自分たちがなんのために医療を行っているのか、常に問い直しながら、日々の診療を続けていくことが大切です。また、病院が求められる役割は、時代とともに変化していきますが、それに対応するために職員一人ひとりの力量を上げつつ、チームとして医療の質向上に取り組み、地域から求められ、支えられる病院として維持発展させていきたいと考えております。

## 職場や同期の仲間とともに 歩みをすすめてみましょう

### みみはらグループ 新入職員オリエンテーション

みみはらグループでは、感染防止対策を厳重に行っており、7月29日に新入職員62人にオリエンテーションを実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のリスクを少なくするため、4月のオリエンテーションを2グループに分かれて行ったため、新入職員全員が一堂に会するのは初めてでした。

オープニングは、先輩職員のチェロ演奏とダンスでスタートし、緊張をほぐすアイスブレイクゲーム、10班に分かれて

就職してからの振り返りを喜怒哀楽の感情別に討論するグループワークを行いました。

例年は、他職種の職員と一緒に全員でオリエンテーションに参加することで、



視野を広めたり、集団作りの契機としてきました。今年度は感染防止など、必要最低限の研修にとどまっています。感染防止対策をしっかりと行うことを前提に、集団で課題に取り組んだり、討論したりすることの重要性を再認識しました。また、新人たちの笑顔を見て、仲間づくりの大切さも感じました。

オリエンテーションの締めくくりに、参加者一人ひとりに職場の先輩からの応援や期待を書いたメッセージカードが贈られました。コロナ禍の中で医療人として働き始め、厳しいことも多かったと思いますが、職場や同期の仲間と共に歩みをすすめてほしいと思います。

(新入職員オリエンテーション 実行委員会事務局)

## ご存知ですか

### コロナに伴う 支援策、把握されていますか？

制度が活用できるよう継続して紹介

新型コロナウイルス感染症に関連して、暮らし・営業を守るための支援策について、皆さんはどの程度把握されていますか？支援策をまとめて表示するサービスもあります。ぜひご活用ください。

国や大阪府の府民への支援策は、大きく分けて5つの分野（①住まい、②暮らし、③税金、④医療関連、⑤学生）で実施されています。大阪府ホームページに主な支援策がまとめられています。

堺市にも独自の支援策があります。暮らしや教育に関連するもので、水道料金の基本料値下げなどがあります。

大阪府や堺市のホームページに、それぞれの支援策についての情報が掲載されています。

(総務部長 清水 琢)



(参考) <https://kurashi.yahoo.co.jp/supports/covid19/>  
(左のQRコードを読み取っていただければ、ジャンプできます)

コロナ災害を乗り越えるのちとくらしを守るなんでも電話相談会  
(無料・全国いっせい)

10月10日(土)  
10:00~22:00  
☎ 0120-157930

主催 同会実行委員会

### 矯正歯科診療実施

診療日  
第1、3、5水曜日夜診  
第2土曜日午前・午後  
(予約制)  
詳しくは耳原歯科診療所まで  
072-245-2912

